



DATA

■お問い合わせ先
JAこまち こまがたフルーツセンター
TEL.0183-42-4790
http://www.komachi.or.jp

JAこまちりんご農家戸数

- JAこまち全体322戸
- 平成21年度のJAこまち管内のりんご農家戸数は約320戸。そのうち「こまがたフルーツセンター」利用者は約190人。

JAこまち内のりんご品種

- (代表的なもの)
- 早生種 さんざ●つがる
 - 中性種 千秋●やたか●昂林●秋田紅あかり●シナノスイート●秋映りんご●涼香の季節
 - 晩生種 ふじ●王林

JAこまち こまがたフルーツセンター

果物を「光センサー」で選果する方法があるようですが、具体的にどんな様子で行われているのですか。教えてください！



ナビゲーター
JAこまち 営農経済部
園芸畜産課 主幹
フルーツセンター
センター長
茂木 久さん

「光センサー選果」って何ですか。
「こまがたフルーツセンター」は、旧駒形選果場の老朽化に伴い湯沢市の補助を受けて建設。平成20年9月に完成しました。当センターでは、光センサー（内部品位センサー）を導入した選果を行っています。コンベヤーで運ばれるりんごが光センサーを通過すると、透過する光の波長により、糖度・酸度・熟度などが数値となってわかります。その後画像処理装置を通過し、機械が48規格に自動選別してくれます。

「画像処理装置」って何ですか。
光センサーの後、専用のカメラが5台設置された箱の中をりんごが通過します。この箱の中で画像を瞬時に分析し、りんごの色や形状などをチェックし、結果が等級に反映されます。

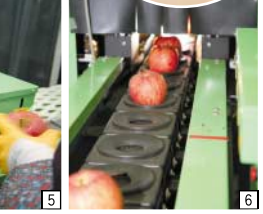
48規格とは「等級」がりんごの外観により6段階（スーパー・特選など）、「階級」がりんごの大きさにより8段階に分けられた48種類のことです。同じ規格のりんごを短時間で箱詰めし、出荷することができます。

一連のコンベヤー作業は最新鋭の機械を導入していますが、りんごを1個ずつコンベヤーに乗せたり、48規格の基本となるりんごを機械でスキャンし登録するという作業はりんご生産者が行っています。コンベヤーで運ばれてくるりんごの中から、基本となるりんごを選びとる作業は、スピードと熟練が要求されるのですが、生産者自らが行っている

「画像処理装置」って何ですか。
「こまがたフルーツセンター」は、旧駒形選果場の老朽化に伴い湯沢市の補助を受けて建設。平成20年9月に完成しました。当センターでは、光センサー（内部品位センサー）を導入した選果を行っています。コンベヤーで運ばれるりんごが光センサーを通過すると、透過する光の波長により、糖度・酸度・熟度などが数値となってわかります。その後画像処理装置を通過し、機械が48規格に自動選別してくれます。

「こまがたフルーツセンター」は、旧駒形選果場の老朽化に伴い湯沢市の補助を受けて建設。平成20年9月に完成しました。当センターでは、光センサー（内部品位センサー）を導入した選果を行っています。コンベヤーで運ばれるりんごが光センサーを通過すると、透過する光の波長により、糖度・酸度・熟度などが数値となってわかります。その後画像処理装置を通過し、機械が48規格に自動選別してくれます。

選果場の処理能力はどのくらいですか。
1日あたり約1000箱の処理能力があります。旧選果場の時は光センサーがなかったこともあり、同じ量を出荷するのに4レーン稼働していました。現在は1レーンのみなので、人件費が抑えられ、効率もとても良くなりました。



1 生産者さん達が目まで個体をチェック。2 りんごのモニメントが目印、こまがたフルーツセンター。3 選果機可動式の様子。4 湯沢市有機アグリセンターの完熟堆肥「こまちアグリパワー」を使用した「こまちりんご」ゆうきくん。5 等級を判断するのも生産者の目。手作業で個体を登録しその後ラインに乗って光選別される。6 光センサーが稼働している様子。7 ふじの傷、サビ、ひび割れなどをチェックしてラインへ。8 画像処理装置。